

# 土浦桜物語

## 「サクラ」に読みとく土浦近代史

**期間** 3月22日(土)～5月6日(火)

昭和10年ごろの「土浦桜川堤」

「桜川の名に負う花の新名所、

舟に長堤を下りて移り行く花の影を追うもよく

夜は幾百の灯りが花に映り水に流れて、

ひとしおの風情がある」

春は桜に、秋は花火に。

筑波山、水郷、海軍航空隊を結ぶ玄関口。

その時代、土浦は「遊覧都市」として花開いた。



### □記念講演会

『桜の春ができるまで 花と人の歴史』

とき／4月5日(土) 午後2時～3時30分

講師／佐藤俊樹さん(東京大学准教授)

定員／70人(先着順)

### □特別展覧 「後撰和歌集」

(日光二荒山神社所蔵 国指定重要文化財)

とき／4月1日(火)～20日(日)

### □展示案内会

とき／3月22日(土)、4月12日(土)、4月26日(土)、  
5月3日(土) 午後3時～3時30分

### □名所めぐり 桜川の源流と周辺の古社寺をたずねる

とき／3月30日(日) 午前9時～午後4時30分

ところ／桜川市磯部稲村神社(謡曲「桜川」の舞台)、鏡ヶ池、雨引山楽法寺

定員／25人(先着順)

申込方法／3月18日(火)から電話で

### □市立博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場 合同企画 クイズラリー『土浦歴史クイズ王』

とき／3月22日(土)～5月6日(火)

市の花―サクラ。その名所である「桜川堤の桜」が全盛期をむかえた昭和10年ごろの土浦を、桜を見つめる人々の視線をとおして紹介します。  
また、人々は桜に美、死、再生など、さまざまな観念や思いを投影してきました。そこで今回は、桜川の由来と謡曲「桜川」、佐久良東雄、予科練、特攻機「桜花」、真鍋のサクラなども取り上げ、桜と日本人のかかわりを考えます。

休館日／毎週月曜日(5月5日を除く)、5月7日(水)  
※4月29日(火)、5月3日(土)～6日(火)は臨時開館  
開館時間／午前9時～午後4時30分  
無料開館日／4月6日(日)(土浦桜まつり協賛)  
入館料／一般105円、小・中学生、高校生50円  
(20人以上の団体は一般75円、小・中学生、高校生30円)  
※毎週土曜日は小・中学生、高校生入館無料  
※博物館入館券で付属展示館土浦城東櫓も見学できます。

申問 市立博物館 (☎824-2928)